

そ ら 宇 宙



相手を知ることから始めよう

杉並区立済美教育センター 統括指導主事 古林 香苗

『パトリックとわたしがなかよくなったのは、キムチのおかげだった。』という書き出しで始まる物語『ジュリアが糸をつむいだ日』（リンダ・スー・パーク作 ないとうふみこ訳 いちかわなつこ絵 徳間書店）を、先日読みました。

主人公である韓国系アメリカ人のジュリアは親友パトリックと二人で、カイコを飼育して生糸をとる自由研究を始めるのですが、その過程で様々な人との出会いがあります。ときには自分の母親から、それは人種差別なのではないかと感じる言葉を聞くこともありました。またあるときは、相手の思い込みによりジュリアが中国人に間違えられ、そのことにジュリアがショックを受けることもありました。そのような経験を通してジュリアはいろいろと考え、あることに気が付きます。



『なぜ、中国人だと決めつけられるのがいやなのか、わたしは、もう一度考えてみた。まちがえる人は、わたしのことを知らないのに、知ったつもりになっている。そして、知ったつもりになっているから、ほんとうはどうなのかときいたりしない。つまり、相手のことを悪く思っているかどうかの問題なんじゃない。「知らない」ってことが問題なんだ。そして、自分が知らないってことをわかっていない——ってというか、気にしてない。そして、自分が知らないってことがわかってないから、知ろうという努力もしない。そのことが問題なんだ。』（本書より引用）

このくだりを読んだときに、私自身がハッとしました。知らないのに決めつけている、そのことに気付いてすらいない自分が、これまでに相手を傷つけていることはなかっただろうか。多分、いや絶対にあっただろうと思うと、今さらながら反省です。

多くの外国人が日本を訪れる中、杉並区の学校にも、様々な国から来た外国人の児童・生徒や帰国児童・生徒がいます。それぞれの異なる文化の中で生活してきた彼らには、杉並区の小・中学校がどのように映っているのでしょうか。きっと不思議だなと思うこともあるでしょう。まずは、そんな素朴な思いを率直に伝え合い、互いを知ることから始めてはどうでしょうか。このことは、どの児童・生徒にとっても、視野が広がり、様々な個性や違いを認め、支え合い受け入れていく姿勢を身に付ける貴重な機会となることでしょう。そして、このようなことを通して身に付けた力は、杉並区教育ビジョン2012において目指す人間像として掲げている「夢に向かい、志をもって、自らの道を切り拓く人」「かかわりを大切にし、地域、社会、自然とともに生きる人」を支える大切な力となります。

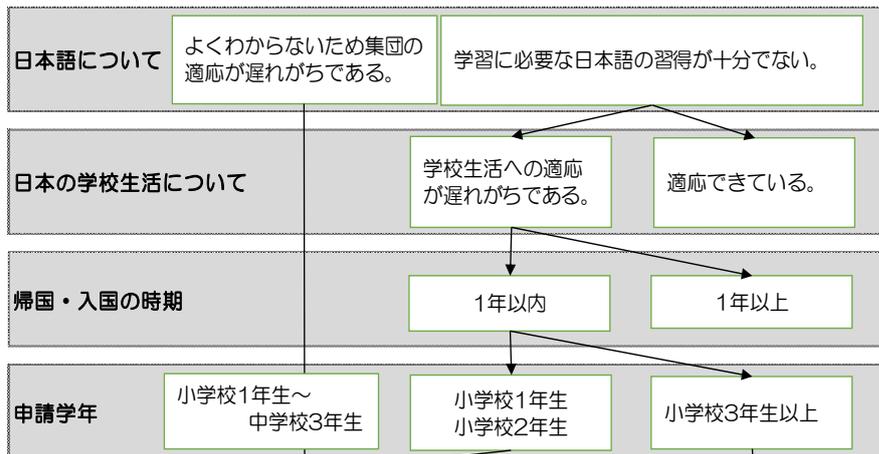
済美教育センターでは、これからも児童・生徒が自国の文化を理解し大切にすることができるようにするとともに、自らと異なる文化も理解し尊重することができるよう、学校の取組を支援してまいります。

平成31年度 国際理解教育事業と主な内容

1 訪問指導

日本語の指導を必要としている外国人および帰国児童・生徒が編入または入学した場合、学校からの要請に基づき、日本語を中心とした指導を行います。

- ・訪問指導要請書
- ・取り出しでの個別指導
- ・週2～3回訪問、1回2単位時間
- ・合計80単位時間



2 補充指導

原則として、学習に必要な日本語の習得が十分でない帰国・入国後1年以内かつ小学校3年生以上の児童・生徒が対象です。

- ・補充指導要請書
- ・放課後での個別指導
- ・水曜日の放課後（授業時間外）2単位時間・合計40単位時間

訪問指導申請

補充指導申請

平成30年度

平成30年度

訪問指導実績

補充指導実績

母国滞在国等	人数	母国滞在国等	人数
中国	9	インドネシア	1
ネパール	9	カナダ	1
アメリカ	4	中国	1
イギリス	2	フランス	1
オーストラリア	2	ミャンマー	1
韓国	2	ロシア	1
タイ	2	合計	6
アラブ首長国連邦	1		
ナイジェリア	1		
フィリピン	1		
ミャンマー	1		
合計	34		

3 国際交流の集い

令和元年11月23日（土）午後2時 杉並区立久我山会館

区内小・中学校に在学する外国人児童・生徒および帰国児童・生徒とその保護者等を中心に、どなたでも参加していただけます。外国人児童・生徒および帰国児童・生徒のスピーチやアトラクションなどを通して交流を深めます。

4 広報誌

国際理解教育の広報誌「宇宙(そら)」を年に2回発行しています。

外国人児童生徒・帰国児童生徒の受け入れ時に学校現場で役に立つ
アプリ・テキスト・ホームページ等

【アプリ】

VoiceTra 国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)が音声認識、翻訳、音声合成技術の一環として開発・提供している無料のスマホ用翻訳アプリです。日本語と外国語(2019年5月現在、31言語)間で双方向の翻訳をすることができます。

【テキスト】

たのしいがっこう(東京都教育委員会)
22種類の言語版があり、PDFファイルをダウンロードできます。

【ホームページ】

CLARINETへようこそ(海外子女教育、帰国児童生徒等に関する文科省のホームページ)
「外国人児童生徒受け入れの手引き」をダウンロードできます。
かすたねっと(外国につながるある児童生徒の学習を支援する情報検索サイト)
ウェブで公開されている多言語学校関係文書・教材を探することができます。

東京都教育委員会ホームページ
公益財団法人 海外子女教育振興財団

【その他】

東京都立学校に入学を希望する皆さんへ(英語版・中国語版・韓国語版) 東京都教育委員会